

# 令和7年度北区立王子桜中学校 自己評価報告書

令和8年2月17日

校長 阿久津 光生

## 1 自己評価の結果と分析

### 【学校生活全般】【 B 】

#### ○学校生活は楽しいですか。(A)

「とてもそう思う」「そう思う」と回答した生徒が95%であり昨年度より1ポイントアップした。保護者においては、肯定的回答が94%で、2ポイントアップした。本校の生徒のほとんどが学校生活を楽しく送っていることがわかる。ネガティブな回答の生徒については、すでに教員が把握している生徒であり、特別支援委員会や生活係会等で対応している。学校生活全般において「自主」を重点とした行事や話し合いを多く取り入れた授業、認め合いの雰囲気づくりなど、日頃の教育活動の成果が現れている。

#### ○心配ごと、困ったことがあるときに担任の先生や学年は、相談しやすいと思いますか。(B)

「とてもそう思う」「そう思う」と回答した生徒が82%であり昨年度比7ポイントアップした。教育相談体制の充実が図れてきているが、今後とも、生活係会での情報共有と生徒対応の方針検討などのもとより、教員1人ひとりが生徒の様子をよく理解するとともに気持ちに寄り添い、いつでも相談にのれる受容的な感覚をもって生徒に日頃から接していくことに心掛けていく。「SOSの出し方講座」を意図的・計画的に続けていく。

#### ○悩みごとや心配ごと、困ったことがあるときに周りの人に相談したり、助けを求めたりできていますか。(B)

「とてもそう思う」「そう思う」と回答した生徒が89%であり昨年度比9ポイントダウンした。担任の先生や学年の先生には相談できているが、友達や家族など身の回りの人に相談したり助けを求めたりすることにネガティブな回答をしている生徒が増えた。「SOSの出し方講座」や日頃の生活指導の講話を大事にしていく。

#### ○友だちと楽しく過ごすことができていますか。(生徒)(A)

#### ○有効な友人関係を気付いているように思いますか。(保護者)(A)

「とてもそう思う」「そう思う」と回答した生徒が98%であり昨年度と同じ。保護者の回答では、肯定的回答が93%であり、昨年度比2ポイントアップした。良好な友人関係を築けている生徒がほとんどであることが分かる。授業や行事等において落ち着いた雰囲気、他を尊重できる場面が多く見られることも肯定的回答が高くなっている要素であると考えられる。一方、いじめ件数は5件であり、悪口、仲間外れなどのトラブル、SNSトラブルなど注視していく必要もある。1%のネガティブな回答をしている生徒に対しても、都や区のスクールカウンセラー、学級経営支援員を活用してきめ細やかな支援を継続していく。

### 【学校行事・部活動】【 A 】

#### ○行事は楽しく取り組みましたか。(A)

「とてもそう思う」「そう思う」と回答した生徒が97%で昨年度比1%ダウンした。保護者の回答では、肯定的回答が94%で昨年度比と増減なしであった。生徒中心となって行事の意義や楽しさを理解している。実行委員会による自主的な行事の企画運営も、充実感や達成感をもってできていたことが伺える。

#### ○部活動は充実して取り組んでいますか。(A)

部活動に所属している生徒78%のうち、「とてもそう思う」「そう思う」と回答した生徒は90%であり、昨年度比9ポイントアップした。保護者の回答では肯定的回答が77%であり、昨年度2ポイ

ントダウンであった。生徒の肯定的回答が9割であるのは、日頃の先生方の指導の成果と共に、生徒による自治的な活動が充実している成果であることが考えられる。一方、保護者の肯定的回答については、2ポイントダウンしていることから、保護者理解を促していくことが課題である。

#### 【授業・家庭学習】【 B 】

##### ○授業に意欲的に取り組んでいるように思う。(B)

「とてもそう思う」「そう思う」と回答した保護者は85.3%であった(昨年度比と同じ)。生徒が家庭でも学習の様子を話したり、家庭学習を頑張ったりしている様子、土曜授業公開での学習に向かう姿から高い評価につながっていると考えられる。すべての教科で、ユニバーサルデザインの視点を生かした学習づくりに組織的に取り組んでいきたい。

##### ○〈きたコン〉を決まりを守って使うことができますか。(A)

「とてもそう思う」「そう思う」と回答した生徒は98%であった(昨年度比増減なし)。毎年、年度初めに経営支援部で行う全校生徒へのオリエンテーションは継続実施していく。

##### ○〈きたコン〉を家庭学習で有効に活用していますか。(B)

「とてもそう思う」「そう思う」と回答した生徒は70%であり、昨年度比19ポイントアップした。保護者の回答では、肯定的回答が85%であり、昨年度比3ポイントアップした。肯定的に回答している生徒について、一昨年度から3年間で24ポイントアップしていることから、きたコンを家庭学習で活用する機会を学校全体で創出している成果である。

#### 【学校運営・その他】【 A 】

##### ○三者面談や保護者会等でお子様の様子が十分に伝えられていると思う。(A)

「とてもそう思う」「そう思う」と回答した保護者は96%で昨年度比5ポイントアップした。高評価ではあり、昨年度の課題を改善し、三者面談、保護者会の工夫をしてきた成果である。個に応じた指導、支援を行っていることを理解していただくとともに、家庭に応じた伝え方もさらに検討していく。また、保護者会など全体会の形式の場合も、分かりやすい会の運営を図っていく必要がある。

##### ○保健室やカウンセリングルームは、生徒の体や心の成長に役立っていると思う。(A)

「とてもそう思う」「そう思う」と回答した保護者は90%であり、昨年度比増減なしであった。保健室やカウンセリングルームの利用率はそう高くはないが、何かあったときに生徒にとって安心して相談できる環境になっていることが分かる。養護教諭や3名のSC、学年の先生方が連携して生徒や保護者にとって精神的な安定を図ることができる場所になっている。

##### ○給食は、栄養バランスや栄養価を考えて実施されていると思う。(A)

「とてもそう思う」「そう思う」と回答した保護者は98%であり、昨年度比8ポイントアップであった。栄養バランスはもちろんのこと、とにかくおいしい給食で生徒も楽しみにしている。毎日の給食をtetoru配信し、保護者への理解を促している。様々な行事料理や郷土料理、世界の料理など、日頃より工夫した給食を提供していただいている。物価高騰の中、給食献立のクオリティを維持していることに感謝です。

##### ○学校・学年だよりや王子桜中ブログなどで、保護者に適切な情報提供がされていると思う。(A)

「とてもそう思う」「そう思う」と回答した保護者は96%で昨年度比ポイントアップした。学校・学年だよりを楽しみにしている、学校の様子がよくわかるという保護者意見もある。